

陳情第4号「銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情」について

目次	ページ
1 九州新幹線西九州ルート建設工事現場（天神町地内） で確認された防空壕跡について .....	1～4
2 位置図 .....	5
3 現状写真 .....	6～9

原爆被爆対策部

まちづくり部

令和元年 6月



# 1 九州新幹線西九州ルート建設工事現場（天神町地内）で確認された防空壕跡について

## （1）概 要

九州新幹線西九州ルート（事業者：鉄道・運輸機構）の新長崎トンネル坑口付近（天神町地内）の建設現場において建物を解体したところ、平成30年2月に法面に複数の防空壕跡が確認されたもの。現在、建設工事が進んでおり、15箇所全てが掘削・埋戻されている。

なお、平成31年2月に調査を行ったところ、人工的に作られたと思われる横穴（下写真A～C）を新たに確認した。

【令和元年6月28日撮影】



## （2）長崎市の方針

### ア 平成30年2月に発見された15箇所について

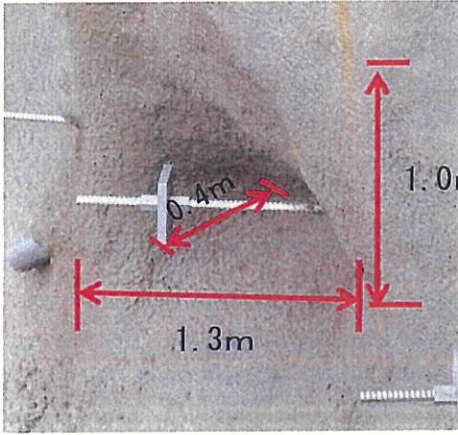
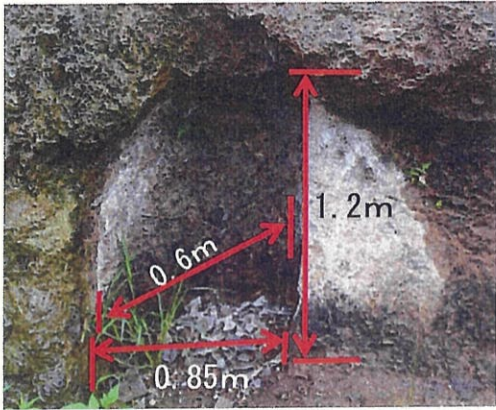

現在も市内に多く残る防空壕跡の一つであり、被爆建造物としての保存対象とは考えていない。

#### 【理由】

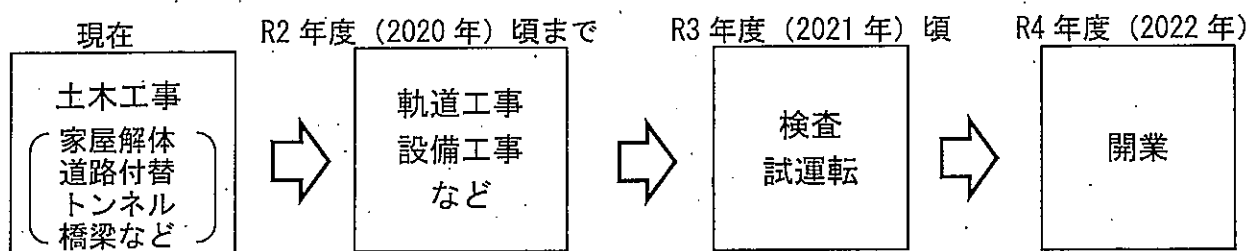
- ・ 長崎市で、事業者（鉄道・運輸機構）に協力要請を行い、防空壕跡の計測をし、壕外から写真撮影して現状の記録を行ったが、被爆の痕跡は見受けられなかった。
- ・ 原爆資料館で保存している写真に当該防空壕跡に着目して撮影しているものはなく、「米国戦略爆撃調査報告書」などの調査記録や、記録資料や証言を基に編纂した「長崎原爆戦災誌」、他の文献においても、当該防空壕跡と特定できる記述はなかった。

なお、今回の防空壕跡は、新幹線建設工事に伴い新しく築造される擁壁や、車道・歩道の切替に支障があるところに位置しており、鉄道・運輸機構からは、「斜面の安定を図り、新幹線構造物の安全性を確保するためには、15箇所全ての防空壕跡を撤去する必要がある。」との考えが示されている。

イ 平成31年2月に確認した横穴について 【令和元年7月2日撮影】

<p>A 青葉荘裏 (幅 130 cm × 高さ 100 cm × 奥行 40 cm)</p> 	<p>(A及びBについて)</p> <p>人工的に作られた横穴と考えられるが、現状からすると窪み程度のもので、防空壕かどうか判断できない。</p> <p>保存・活用の検討対象とは考えていない。</p> <p>Aは閉塞済。</p>
<p>B 個人宅敷地直下 (幅 85 cm × 高さ 120 cm × 奥行 60 cm)</p> 	
<p>C 個人宅敷地直下 (幅 60 cm × 高さ 80 cm × 奥行 (不明))</p> 	<p>(Cについて)</p> <p>開口部の形状や閉塞の状況から人工的に作られた横穴と考えられるが、現状からすると開口部が小さいため防空壕跡かどうか判断できない。</p> <p>保存・活用の検討対象とは考えていない。</p>

(3) 新幹線建設工事スケジュール (予定)



【防空壕跡 15 箇所の措置状況】

15 箇所 (番号 1 ~ 15) については工事に伴う掘削・埋戻し済み

【新たに確認された横穴 3 箇所の措置】

横穴 A 閉塞済

横穴 B, C 浦上街道付替部 (階段) であり、撤去する必要があるが、時期については未定

※ 今後の工事の進捗や施工計画の見直しにより、時期は変更となる可能性がある。

【参考 1】

長崎市被爆建造物等の取扱基準 (抜粋)

(趣旨)

第 1 条 この基準は、本市に投下された原子爆弾による被害を受けた建築物、橋、石垣、鳥居及び石碑等の建造物並びに樹木 (以下「被爆建造物等」という。) の調査、保存及び活用を行うに当たり、必要な取り扱いの基準を定めるものとする。

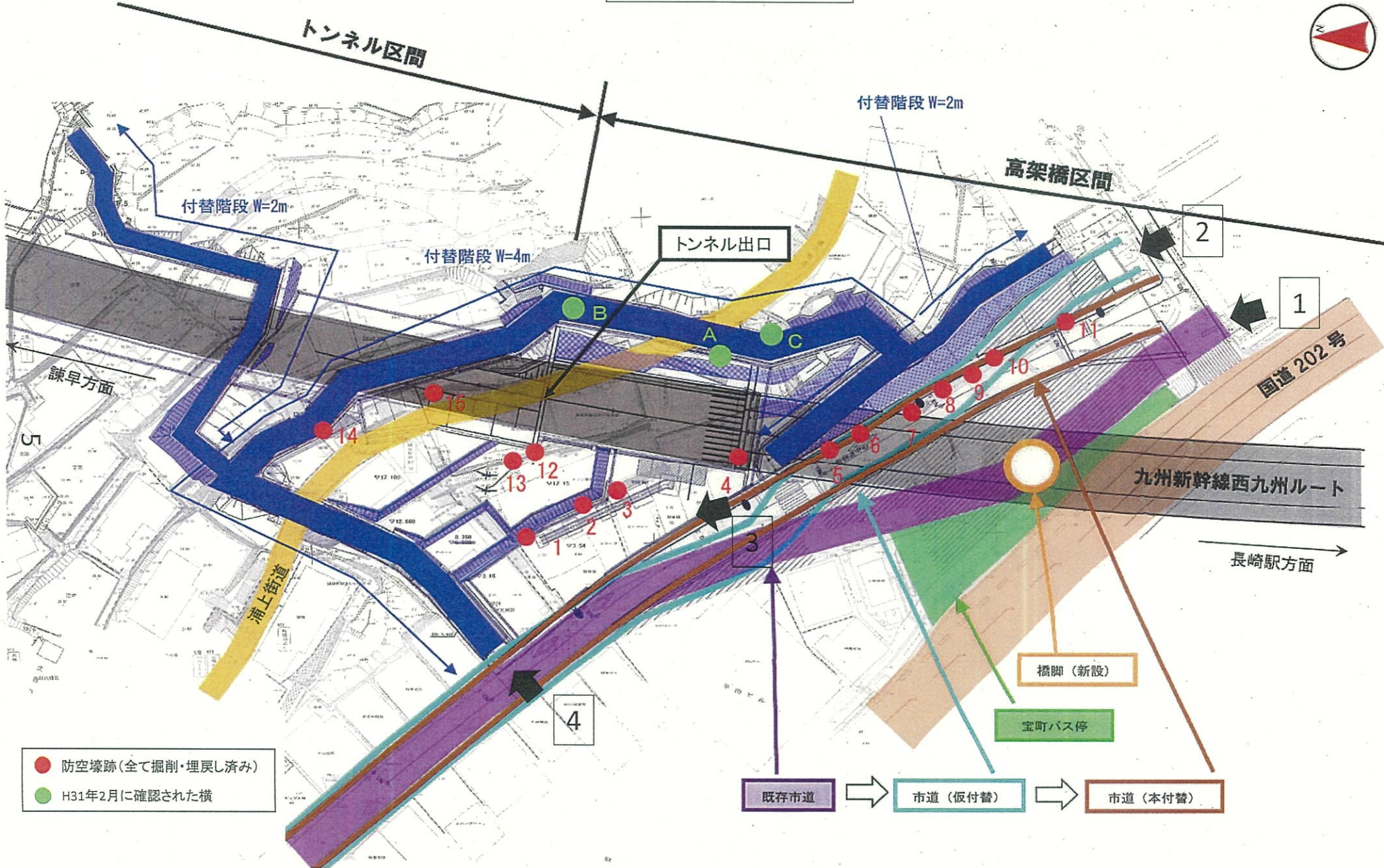
【参考 2】 これまでの陳情等の経過

※敬称略

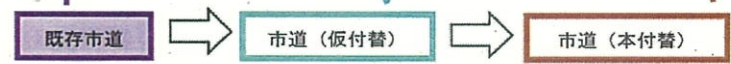
期 日	内 容	団 体 名
平成 30 年 2 月 20 日	長崎市に対し要望	長崎地区労働組合会議 (議長 小宮伸二)、西坂・銭座小学校区勤労者協議会 (会長 中村住代)
平成 30 年 2 月 27 日	市議会に対し陳情 (1 回目) (3/7 教育厚生委員会審査)	西坂・銭座小学校区勤労者協議会
平成 30 年 3 月 13 日	長崎市に対し申し入れ (1 回目)	在外被爆者支援連絡会 (共同代表 月川秀文、岩松繁俊、平野伸人)、平和活動支援センター (所長 平野伸人)、平和公園の被爆遺構を保存する会 (代表 竹下 英美)
平成 30 年 3 月 16 日	長崎市に対し申し入れ (2 回目)	同上
平成 30 年 4 月 9 日	「銭座防空壕群を保存する連絡会 (共同代表 中村住代・月川秀文)」を結成	〔構成団体〕西坂・銭座小学校区勤労者協議会、在外被爆者支援連絡会、平和活動支援センター、平和公園の被爆遺構を保存する会、長崎地区労働組合会議

期 日	内 容	団 体 名
平成 30 年 4 月 18 日	長崎市に対し申し入れ (1 回目)	銭座防空壕群を保存する連絡会
平成 30 年 4 月 20 日	鉄道・運輸機構に対し要望	同上
平成 30 年 5 月 7 日	鉄道・運輸機構に対し抗議	同上
平成 30 年 5 月 16 日	長崎市に対し要請 (2 回目)	同上
平成 30 年 6 月 12 日	市議会に対し陳情 (2 回目) (6/20 教育厚生委員会審査)	同上
平成 30 年 7 月 30 日	長崎市に対し要請 (3 回目)	同上
平成 30 年 9 月 6 日	市議会に対し陳情 (3 回目) (9/14 教育厚生委員会審査)	同上
平成 30 年 9 月 26 日	長崎市に対し要請 (4 回目)	同上
平成 30 年 10 月 10 日	長崎市に対し要請 (5 回目)	同上
平成 30 年 12 月 3 日	市議会に対し陳情 (4 回目) (12/7 教育厚生委員会審査)	同上
平成 31 年 1 月 25 日	長崎市に対し要請 (6 回目)	同上
平成 31 年 2 月 27 日	市議会に対し陳情 (5 回目) (3/7 教育厚生委員会審査)	同上
平成 31 年 3 月 22 日	長崎市に対し要請 (7 回目)	同上
令和 元年 6 月 25 日	市議会に対し陳情 (6 回目) (7/4 教育厚生委員会審査)	同上

# 2 位置図



- 防空壕跡(全て掘削・埋戻し済み)
- H31年2月に確認された横



### 3 現状写真

(1) 工事状況 (令和元年7月2日撮影)

1



2





3

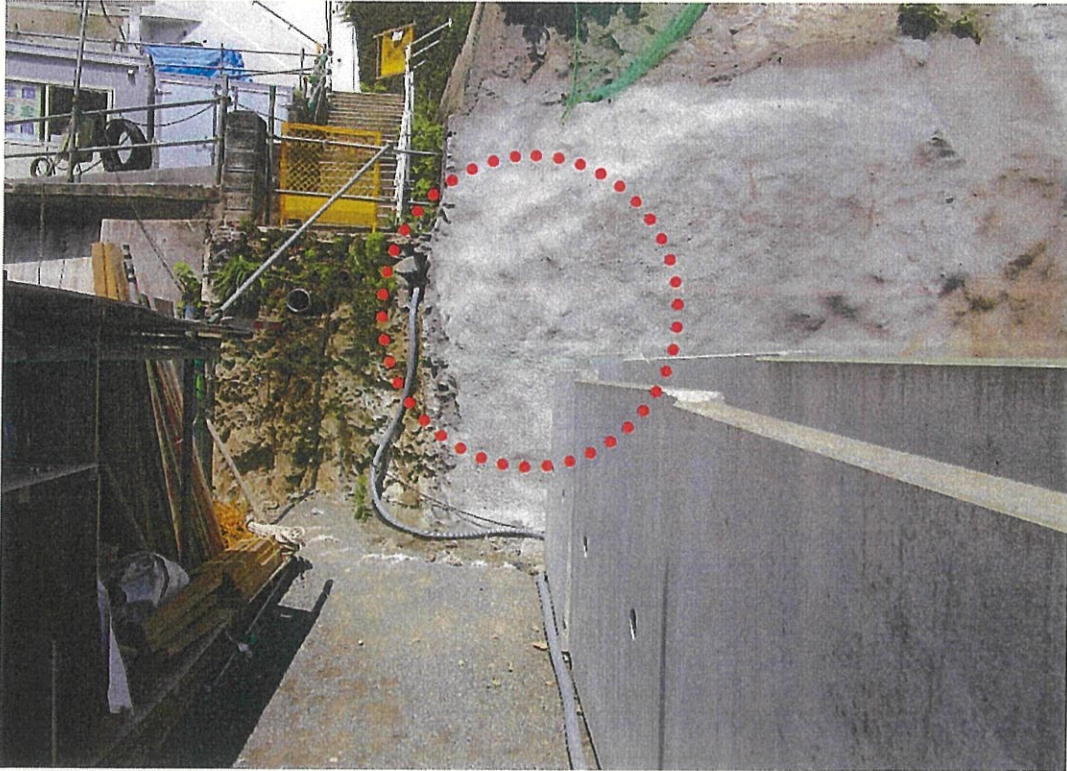


4



(2) 各防空壕跡の状況

防空壕跡 1 (令和元年 6 月 17 日撮影)



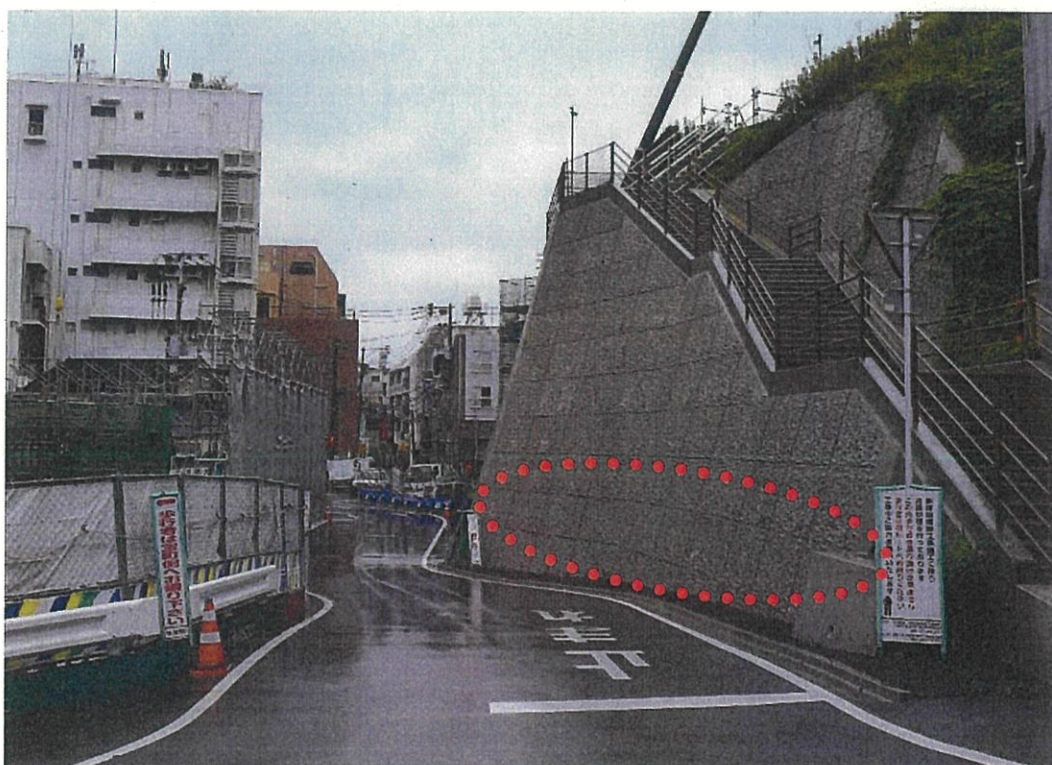
防空壕跡 2、3 (令和元年 6 月 17 日撮影)



防空壕跡 4 (令和元年 6 月 17 日撮影)



防空壕跡 5 ~ 11 (令和元年 7 月 2 日撮影)



※防空壕跡 12 ~ 15 (写真撮影不可)